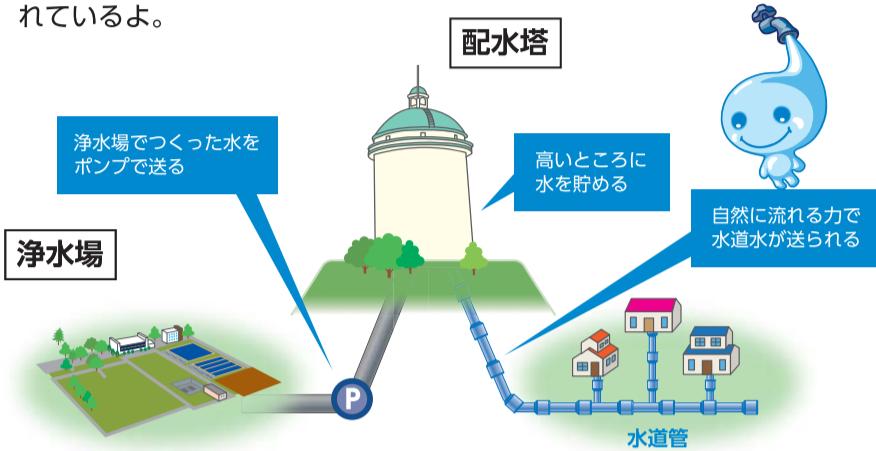


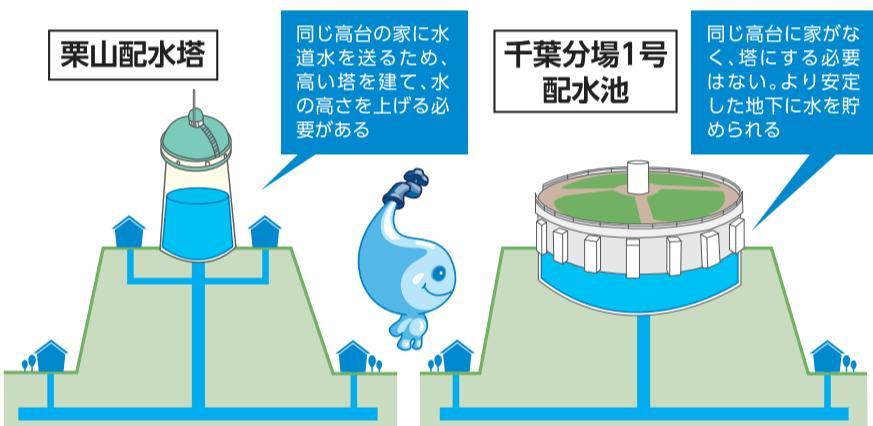
栗山配水塔、千葉分場1号配水池には どんな役割があるの？

浄水場でつくられた水道水は、送水管を通って、高台にある栗山配水塔や千葉分場1号配水池にポンプで送られるよ。水道水は朝多く使われて深夜はあまり使われないなど、時間帯によって使用量にはばらつきがあるから、ここで水を貯めておくことで、みんなの家に送る水の圧力を調節しているんだよ。その後、高低差を利用してみんなの家に届けかれているよ。



栗山配水塔や千葉分場1号配水池は なんでこんな形をしているの？

配水塔や配水池は、建てられた場所から「どの高さの地区にどれくらいの量の水道水を送るか」で形や大きさを決めるよ。



工水コラム

京葉道路市川インターのすぐそば、市川警察署と道路を挟んだ向かい側に葛南工業用水道事務所があります。

当事務所は南八幡浄水場を併設しており、江戸川から取水した原水を浄水処理し、鉄鋼関係、食品関係をはじめ様々な工場へ工業用水を送っています。

給水区域は広く、市川市近隣以外にも、離れた松戸方面や船橋方面に工業用水を供給するため、途中に2か所の給水ポンプ場を設けています。

工業用水を地下水から表流水に転換したことにより、地盤沈下対策にも一役買っています。



東葛・葛南地区に
工業用水を送る
葛南工業用水道事務所

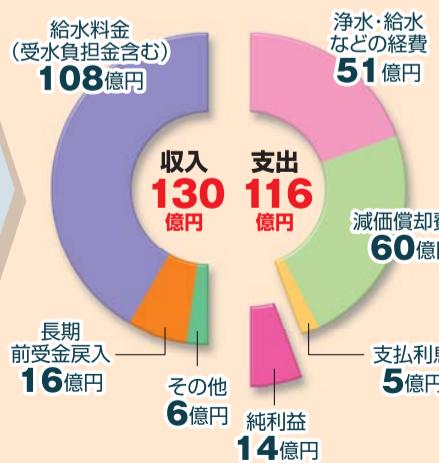
工水決算 《平成28年度 決算の概要》

平成28年度から千葉県水道局が事業を担っていくことになりました、工業用水道事業の平成28年度決算の純利益は、約14億円となりました。

現在、計画的な事業の運営を行い、安定経営を行っているところですが、今後、老朽化した施設や管路の更新・整備が増加していくことから、中長期的な視点に立って、一定の内部留保資金を確保しながら、引き続き健全経営の確保に努めてまいります。

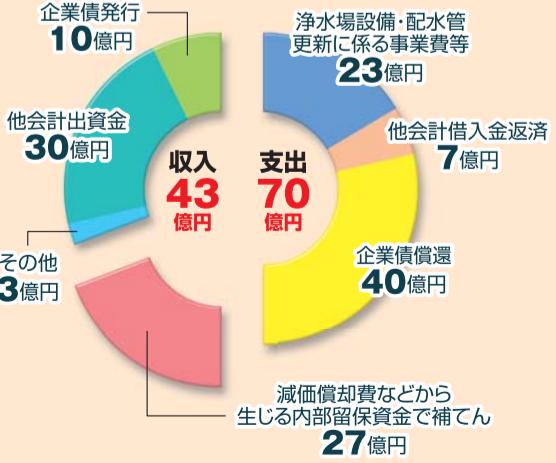
収益的収支

事業の管理・運営にかかる収支です。



資本的収支

施設の整備・改良にかかる収支です。



イベントのお知らせ



1 千葉分場1号配水池及び 栗山配水塔文化財登録記念イベント

両施設が登録有形文化財に登録されたことを記念して、イベントを開催します！普段は公開していない両施設の一般公開、写生会（小学生対象、希望者は紙・用具持参のこと）、マスコットキャラクター「ポタリちゃん」との記念撮影、その他イベント盛りだくさん！千葉分場では建設当時の貴重な資料を見ることができます。申し込みは不要です！

【日時】平成30年2月4日（日）10時～15時

2 桜の季節 千葉高架水槽及び栗山配水塔見学会

毎年4月、桜の咲く頃に両施設を開放し見学会を開催しています。今年も一般開放するので、美しい桜とユニークな塔のコラボレーションをお楽しみください！

【日時】平成30年4月8日（日）10時～14時

【会場】

①、②の両イベントともに、それぞれの開催日時に下記2会場で実施します。

●千葉県水道局千葉分場 (千葉市中央区矢作町670)

(千葉高架水槽、千葉分場1号配水池を見ることができます)

- ・JR千葉駅東口12番バス乗り場から千葉中央バス「蘇我駅東口行」（矢作経由）でバス停「水源橋」下車徒歩約3分
- ・JR千葉駅東口1番バス乗り場から千葉中央バス「大宮団地行」でバス停「旭町」下車徒歩約7分



●千葉県水道局栗山浄水場 (松戸市栗山198)

(栗山配水塔を見ることができます)

- ・北総線「矢切駅」下車徒歩約5分
- ・JR市川駅北口1番バス乗り場から京成バス「矢切駅経由松戸駅行」又は「松戸車庫行」でバス停「栗山」下車徒歩約2分
- ・JR松戸駅西口3番バス乗り場から京成バス「矢切駅経由市川駅行」でバス停「栗山」下車徒歩約2分



【注意】

- 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 浄水場の見学はできません。
- ペット同伴での入場はできません。
- 場内での食事・飲酒はご遠慮ください。
- 入場の際は受付にて住所、氏名の記入にご協力をお願いいたします。

【問合せ先】

文化財登録記念イベント

水道部浄水課 ☎043-211-8683（午前8時30分から午後5時15分まで）

桜の季節見学会

管理部総務企画課 ☎043-211-8365（午前8時30分から午後5時15分まで）

工水決算

平成28年度 決算の概要

平成28年度から千葉県水道局が事業を担っていくことになりました、工業用水道事業の平成28年度決算の純利益は、約14億円となりました。

現在、計画的な事業の運営を行い、安定経営を行っているところですが、今後、老朽化した施設や管路の更新・整備が増加していくことから、中長期的な視点に立って、一定の内部留保資金を確保しながら、引き続き健全経営の確保に努めてまいります。